仙台空港 月内再開

一部国内線 運航へ

4月中に一部国内線で運航が再開される見通しとなった仙台空港のターミナルビル＝5日午後1時50分ごろ

河北新報

4月6日（水）

河北新報社
仙台市青葉区五橋1-2-28
郵便番号 980-8660

「東」は、未来

電話（022）211
読者相談室 1447
報道部1122 販売部1304
スポーツ部1130 営業部1318
夕刊編集部1146 営業管理部1312
生活文化部1133 事業部1332
総合案内（022）211-1111
ご購読申し込みは
0120-09-3746

2面 妊婦と乳幼児 村外避難
3面 漁業者 いら立ち頂点
4面 世界で原発後退加速
5面 応援メッセージ
7面 避難者 温かく見守って
10・11面 生活関連情報

東日本大震災の大津波で浸水した仙台空港は、今月中に一部国内線で運航を再開する見通しとなった。東北新幹線は4月末までに運転を全面再開する北陸、宮城県と石巻市をつなぐ二つの動脈の復旧は、復興に向けた動きを加速させそうだ。

国土交通省の市村裕二郎航空局長は5日、宮城県庁内で明らかにした。

仙台空港はターミナルビル1階が冠水し、管制システムの計器類が故障。現在、設備の全体像を確認中。国内線に限られ、関東以西や北海道の路線が主軸になるとみられる。

市村政務官は「完全な復旧には時間がかかるが、大型連休までには何とか（暫定的に）開きたい。路線網は国土交通、山形、花巻空港と連携」

東京電力が福島第一原発の事故で苦境を強いられる住民や農家に対し、損害賠償が確実な前に仮払金を支払う制度を設けることが5日、分かった。原子力損害賠償制度に基づくもので、事故の長期化による生活への影響を避けるのが狙い。近く相談の窓口を設置し、協議しつつ決めるが、今月中にも実施する方向だ。

東電はまた、仮払いとなる平均額、請求の仕方などを明らかにした。

ターミナルビルと駐車場の被害は、「完全に使えない状態」。ターミナルビルは、地下1階、地上3階建ての延べ約1万2千平方メートル。1階は、到着ロビーなどがあり、2階は、出発ロビーなどがあり、3階は、レストランなどがある。

ターミナルビルの地下1階は、ボイラーなどの設備があり、ターミナルビルの1階は、ボイラーなどの設備があり、ターミナルビルの1階は、ボイラーなどの設備があり、ターミナルビルの